

妙安寺だより 338

テレフォン法話 092-751-6084 (毎週月曜日に話が変わります)

宗祖御報恩御会式法要の案内

10月21日(日) ※正午より おトキ(昼食)

午後 1時より 宗祖御報恩御会式法要

午後 2時より 法話

講師 北九州市八幡東区 龍潜寺住職 松尾周学 僧正

※参詣者には、日蓮聖人像の綿帽子・桜の花を贈呈。

「綿帽子の由来」

文永元年(1264)11月11日、小松原(現・千葉県)においての襲撃を受けられた聖人は、額に傷を受け腕を砕かれてしまい、一旦小湊の岩山(岩高山)に身を潜め傷の手当をされました。傷の養生をする聖人のもとへ「おいち」という老婆が訪れ、聖人の傷の深さを察し、寒さに傷が痛んではいけないと自らが羽織っていた綿入れを剥(は)ぎ、中の綿を取り出して聖人の傷に当てられたといわれていることが「綿帽子」の習わしとされています。

言葉&ことわざ 4

※三宝とは何なるやといふに、第一に健康、第二に知識、第三にの三つのものなり。()

※人の目は百里の遠きをみれども、その背を見ず。明鏡といえどもその裏を照らさず。()

*で

なまぐさを食べぬ戒めを、いわしのようなつまらぬ魚をうっかり食べて破ること。つまらぬものために、つ

いうっかりして大事な戒めを破る。

*のうはの

入る船に逆風であれば、出て行く船には追手風である。一方の利になることが、他には不利になるの意。両方

よいことはない。

平成25年度 『地涌の声』 功德主の募集

平成25年度の「地涌の声」の功德主を募集いたします。

功德主料は、1ヶ月 5,000円です。(約300通、寺報とともに全檀信徒に配布。)

ご希望の方は、配布2ヶ月前にお申し込みください。

※申し込み方法

ご希望月と先祖代々の霊または故人の命日の法号をお知らせの上、早めにお申し込みください。

なお、希望の月は先着順になりますので、第二・第三のご希望月もお申し出下さい。

